



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月28日

上場会社名 ホウライ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9679 URL <https://www.horai-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺本 敏之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務企画部長 (氏名) 三野 眞 TEL 03-6810-8117
 四半期報告書提出予定日 2023年8月1日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の業績 (2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	3,670	5.1	354	25.6	548	13.0	372	10.5
2022年9月期第3四半期	3,492	△1.8	282	31.3	485	44.9	337	34.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	266.97	—
2022年9月期第3四半期	241.60	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	18,472	8,931	48.4
2022年9月期	18,877	8,596	45.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 8,931百万円 2022年9月期 8,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2023年9月期	—	0.00	—		
2023年9月期 (予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年9月期の業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	5.3	500	12.7	630	△7.7	420	△10.8	300.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	1,404,000株	2022年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	7,901株	2022年9月期	7,859株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	1,396,126株	2022年9月期3Q	1,396,196株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関してウィズコロナの新たな段階へ移行し、個人消費、企業収益ともに緩やかな持ち直しが見られた一方、世界的な金融引締めが続く中で海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなり、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等から、不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、営業収益につきましては、不動産事業、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、保険事業は前年同期を下回り、全体での営業収益は3,670百万円（前年同期比177百万円増）と前年同期比増収となりました。

営業総利益につきましては、千本松牧場、ゴルフ事業は前年同期を上回りましたが、保険事業、不動産事業は前年同期を下回り、全体では823百万円（前年同期比71百万円増）と前年同期比増益となりました。一般管理費は前年同期並みの469百万円（前年同期比0百万円減）となり、営業利益は354百万円（前年同期比72百万円増）と前年同期比増益となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益171百万円（前年同期比7百万円減）を計上したことを主因に、経常利益は548百万円（前年同期比62百万円増）、四半期純利益は372百万円（前年同期比35百万円増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

①保険事業

お客様とのリレーションを深めつつ、様々なリスクマネジメントのご要望に応じた保険商品の提案を行う等、お客様に寄り添ったコンサルティングを推進しました。営業収益は、生命保険分野で新たなご契約を数多くいただき増加しましたが、損害保険分野は契約更改の低調を主因に減少し、全体で849百万円（前年同期比23百万円減）となりました。営業原価は適正な経費コントロールにより前年同期を下回り、営業総利益は293百万円（前年同期比12百万円減）となりました。

②不動産事業

所有不動産の入居率はほぼ満室状態で安定的に推移し、営業収益は909百万円（前年同期比5百万円増）となりました。営業原価は水道光熱費の増加に加え、環境負荷を軽減する省エネ型空調機器への更新等により前年同期を上回り、営業総利益は555百万円（前年同期比3百万円減）となりました。

③千本松牧場

新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かう中、全国旅行支援の効果や各種メディアを通じた牧場プロモーションへの一層の取り組み強化等により、観光施設へのご来場者数は前年同期を上回りました。施設内では、千本松ルネサンスへの取り組みの一環として「どうぶつふれあい広場」の充実やプライベートドッグランの新設、ウォールアート装飾、売店でのThe PURE MILK Ice-cream、ミルクチーズケーキ、リコッタチーズ等自社製品の発売等で、引き続きご来場者様に安心・安全にお楽しみいただける牧場づくりに努め、観光施設は前年同期比増収となりました。外販営業は地元量販店、ギフト商社向けが伸長し、前年同期比増収となりました。酪農は搾乳牛の累計頭数、搾乳量ともに増加し、前年同期比増収となりました。

この結果、営業収益は全体で1,350百万円（前年同期比159百万円増）となりました。営業原価は変動費の増加を主因に前年同期比増加し、営業総利益は17百万円（前年同期比70百万円改善）となりました。

④ゴルフ事業

宿泊プレープランの充実、レディースデーの拡充、地元や首都圏の法人のお客様を中心とした積極的なプロモーション等で、より多くの方にご来場いただけるよう努めました。また、コースコンディションの更なる向上に取り組み、引き続きご来場者様から高くご評価いただくとともに、快適にお過ごしいただける接遇の実践、一段とお楽しみいただけるレストラン運営、クラブハウス売店の魅力向上等に取り組み、ご来場者様の満足度向上に努めました。6月には、昨年、一昨年に続き西那須野カントリー倶楽部で男子プロトーナメントを開催し、参加した男子プロからは美しくエキサイティングなコースとして高いご評価をいただき、ネット配信等を通じて我が国有数のゴルフ場としての認知度は更に向上いたしました。

この結果、ご来場者数は前年同期を上回り、営業収益は561百万円（前年同期比36百万円増）となりました。営業原価はご来場者数増加に伴う変動費の増加や料金高騰に伴う水道光熱費の増加により前年同期を上回り、営業総損失は43百万円（前年同期比18百万円改善）となりました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,300,082	3,038,166
受取手形及び売掛金	350,075	264,128
商品及び製品	109,875	131,520
仕掛品	6,337	26,654
原材料及び貯蔵品	53,079	61,593
その他	111,032	100,759
貸倒引当金	△89	△99
流動資産合計	3,930,395	3,622,723
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,666,332	3,593,132
土地	8,266,772	8,226,987
その他(純額)	1,843,677	1,857,229
有形固定資産合計	13,776,781	13,677,350
無形固定資産		
投資その他の資産	22,317	31,376
その他	1,171,134	1,163,715
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,148,134	1,140,715
固定資産合計	14,947,233	14,849,442
資産合計	18,877,628	18,472,165
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,231	98,131
未払法人税等	157,791	38,844
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
引当金	92,751	28,348
その他	790,292	660,936
流動負債合計	1,255,066	926,260
固定負債		
長期預り保証金	5,975,826	5,667,606
長期借入金	2,700,000	2,650,000
引当金	136,510	109,505
資産除去債務	98,777	99,490
その他	114,817	87,565
固定負債合計	9,025,930	8,614,167
負債合計	10,280,997	9,540,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,340,550	4,340,550
資本剰余金	527,052	527,052
利益剰余金	3,540,912	3,836,849
自己株式	△19,325	△19,452
株主資本合計	8,389,189	8,684,999
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	207,441	246,738
評価・換算差額等合計	207,441	246,738
純資産合計	8,596,631	8,931,737
負債純資産合計	18,877,628	18,472,165

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
営業収益	3,492,494	3,670,430
営業原価	2,740,895	2,846,846
営業総利益	751,599	823,583
一般管理費	469,412	469,197
営業利益	282,186	354,386
営業外収益		
受取利息	24	23
受取配当金	35,207	41,055
会員権消却益	178,198	171,110
その他	19,799	21,495
営業外収益合計	233,230	233,684
営業外費用		
支払利息	22,894	22,181
乳牛除売却損	4,957	14,280
その他	1,987	3,046
営業外費用合計	29,838	39,507
経常利益	485,578	548,563
特別利益		
固定資産売却益	1,499	12,290
特別利益合計	1,499	12,290
特別損失		
固定資産除売却損	6,774	8,745
減損損失	—	39,784
特別損失合計	6,774	48,529
税引前四半期純利益	480,303	512,324
法人税、住民税及び事業税	80,679	110,451
法人税等調整額	62,308	29,148
法人税等合計	142,987	139,599
四半期純利益	337,316	372,724

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。